

(公表資料)

クリエイター等育成・文化施設高付加価値化支援事業
「文化施設による高付加価値化機能強化支援事業
(文化芸術活動基盤強化基金)」採択先の決定について

令和6年9月10日
独立行政法人 日本芸術文化振興会

文化芸術活動基盤強化基金は、国からの補助金により、次代を担うクリエイター・アーティスト等を育成するとともに、その活躍・発信の場でもある文化施設の次世代型の機能強化を弾力的かつ複数年度にわたって支援するために、独立行政法人日本芸術文化振興会に新たに設置された基金です。

このたび、独立行政法人日本芸術文化振興会では、本基金による事業のうち、博物館・美術館等や劇場・音楽堂等の文化施設について、グローバルに活躍する若手クリエイター・アーティスト等の育成の一環として、当該若手クリエイター等の「国内における活動の拠点」かつ「活動に対して新たな高い価値を付加する拠点」としての機能形成の推進を目的とする「文化施設による高付加価値化機能強化支援事業」の採択先を、審査委員会における審査を経て、別添のとおり決定しました。

クリエイター等育成・文化施設高付加価値化支援事業
「文化施設による高付加価値化機能強化支援事業
(文化芸術活動基盤強化基金)」採択先の決定について

独立行政法人 日本芸術文化振興会

文化施設による高付加価値化機能強化支援事業
(文化芸術活動基盤強化基金)

審査結果集計表

応募区分	応募件数	採択件数
博物館・美術館等	21	4
劇場・音楽堂等	42	9
計	63	13

※事業規模別に以下の区分を設けており、各施設は複数の区分に応募可能。

大規模：3億円まで、中規模：1.5億円まで、小規模：4千万円まで

※上記の応募件数は延べ件数。

文化施設による高付加価値化機能強化支援事業
(文化芸術活動基盤強化基金)

採択一覧

区分	施設名	団体名	事業区分	採択額 (千円)
博物館・美術館等	大分市美術館	大分市	中規模	57,000
	国立科学博物館	独立行政法人国立科学博物館	大規模	280,000
	東京国立博物館	独立行政法人国立文化財機構 東京国立博物館	大規模	250,000
	森美術館	森ビル株式会社	大規模	260,000
劇場・音楽堂等	愛知県芸術劇場	公益財団法人愛知県文化振興事業団	小規模	40,000
	江原河畔劇場	一般社団法人江原河畔劇場	小規模	39,444
	静岡県舞台芸術センター	公益財団法人静岡県舞台芸術センター	中規模	53,000
	世田谷文化生活情報センター (世田谷パブリックシアター)	公益財団法人せたがや文化財団	中規模	100,500
	東京芸術劇場	公益財団法人東京都歴史文化財団	中規模	130,000
	東京文化会館	公益財団法人東京都歴史文化財団	中規模	50,000
	まつもと市民芸術館	一般財団法人松本市芸術文化振興財団	小規模	18,121
	山口情報芸術センター [YCAM]	公益財団法人山口市文化振興財団	小規模	40,000
	ロームシアター京都	公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団	小規模	40,000

※事業規模別に以下の区分を設けており、各施設は複数の区分に応募可能。
大規模：3億円まで、中規模：1.5億円まで、小規模：4千万円まで

文化芸術活動基盤強化基金「文化施設による高付加価値化機能強化支援事業」
の審査方法等について

(1) 審査の方法等

芸術文化振興基金運営委員会の下に設置した「文化施設高付加価値化支援部会」において、募集案内等で定められた趣旨・要件等を踏まえ以下のとおり調査審議の方法等を決定し、審査を付託された活動について専門的立場から調査審議を行った。

・団体から提出された助成金交付要望書について、本部会の委員が「(2) 審査基準」の項目ごとに5段階で書面審査を行う。

配点10点の項目（審査基準 ア、イ、エ、オ、カ、ク、ケ、シ、ス、セ、ソ）：

大変優れている＝10点 優れている＝8点 普通＝6点

やや劣っている＝4点 劣っている＝2点

配点20点の項目（審査基準 ウ、キ、コ、サ、タ、チ）：

大変優れている＝20点 優れている＝16点 普通＝12点

やや劣っている＝8点 劣っている＝4点

・委員による書面審査の結果をもとに、合議により総合的に審査を行い、「採択」または「不採択」の評定を行う。

(2) 審査基準

【組織・体制について】

ア 過去の事業実績が国内もしくは海外から高い評価を受けており、今後も我が国の文化芸術界を牽引することが期待できる文化施設であること

イ 組織運営体制が確立されており、財務や活動環境が透明かつ適正であること

【計画内容について】

(基礎的事項)

ウ 実施計画の趣旨・目的や計画構想、成果目標値の設定が明確かつ適切であり、グローバルに活躍する人材の育成や海外展開に資するものであること。これにより、文化施設の機能強化が期待できること

エ 国際的なネットワークを有しており、海外との交渉やプロモーション等にあたり必要となるノウハウや人材を有していること

オ 国内外の批評家、専門家等の招聘・派遣などにより評価を得ることが計画されていること

カ 事業の規模や収入等に照らし、予算規模が適切であること

(育成計画)

キ 起用する若手クリエイター等（育成対象者）の選定の方法・基準（理由）・選考者等が明確かつ適正であり、国際的に活躍することが期待できること。これにより、文化施設の機能強化が期待できること

ク 指導者等に当該分野において国際的な実績や高い専門性が認められること

ケ 国内外の関係者・団体等との連携・協力体制が十分であり、育成方法が効果的であると認められること

(展示・公演等計画)

- コ あらゆるステークホルダー（自治体、企業、コミュニティ、他の文化施設、教育機関等）との事業連携・協力の努力が認められ、社会的価値や経済的価値への創出に貢献することが期待できること
- サ 展示・公演等の内容が、若手クリエイター等の育成に資するものであること
- シ 展示・公演等の内容が、高度な芸術性・創造性・新規性を有することが期待できること
- ス 事業収入のほか、各種助成金や寄附金・協賛金等の獲得が期待できること
- セ 海外に広く開かれ、多くの観客の参加により行われる展示・公演等が計画されていること
- ソ 展示・公演等の実施にあたり、ターゲットを明確に設定し、若手クリエイター等の育成や海外展開に効果的な広報やマーケティング・プロモーション・分析等が計画されていること

【社会性・経済性・発展性について】

- タ 本事業で得られたノウハウやネットワークを活用し、本事業終了後も継続的に、当該分野においてグローバルに活躍する人材の育成や海外展開に貢献することが期待できること
- チ 育成対象者の国際的な活躍や、文化施設の国内外における評価の高まりにより、我が国の文化芸術の評価や国際的プレゼンスの向上、文化芸術を通じた相互理解の促進、コンテンツ市場の拡大等につながることを期待できること

芸術文化振興基金運営委員会委員名簿
文化施設による高付加価値化機能強化支援事業

○運営委員会

委員長	中 村 孝 義
委員長代理	衛 紀 生
委員長代理	三 好 勝 則
	猪 崎 弥 生
	柏 原 寛 司
	児 玉 竜 一
	後 藤 治
	小 松 弥 生
	齊 藤 孝 正
	新 藤 次 郎
	西 川 信 廣
	野 平 一 郎
	福 島 明 夫
	森 西 真 弓
	山 脇 晴 子

○部 会

文化施設高付加価値化支援部会

博物館・美術館等分科会

部会長／博物館・美術館等分科会長	吉 見 俊 哉	(國學院大学観光まちづくり学部観光まちづくり学科教授／東京大学名誉教授)
部会長代理／博物館・美術館等分科会長代理	山 脇 晴 子	◎ (中央更生保護審査会常勤委員／元日本経済新聞社常務執行役員)
	天 野 太 郎	(東京オペラシティ アートギャラリー チーフ・キュレーター)
	黒 川 廣 子	(東京藝術大学大学美術館 館長)
	山 出 淳 也	(Yamaide Art Office株式会社 代表取締役)
	脇山マリア優美子	(株式会社Sentio 代表取締役)

劇場・音楽堂等分科会

部会長／劇場・音楽堂等分科会長	吉 見 俊 哉	(國學院大学観光まちづくり学部観光まちづくり学科教授／東京大学名誉教授)
劇場・音楽堂等分科会長代理	三 好 勝 則	◎ (香川大学客員教授／前公益財団法人東京都歴史文化財団アーツカウンシル東京機構長)
	唐 津 絵 理	(愛知県芸術劇場 常務理事・芸術監督)
	Gary Perlman	(評論家・翻訳家)
	畠 由 紀	(元国際交流基金舞台芸術専門員／アジア舞台芸術コーディネーター)
	松 井 憲 太 郎	(演劇研究・評論／元 富士見市民文化会館キラリふじみ 館長)
	横 堀 応 彦	(跡見学園女子大学マネジメント学部准教授)

◎運営委員会運営委員

(令和6年8月末時点)